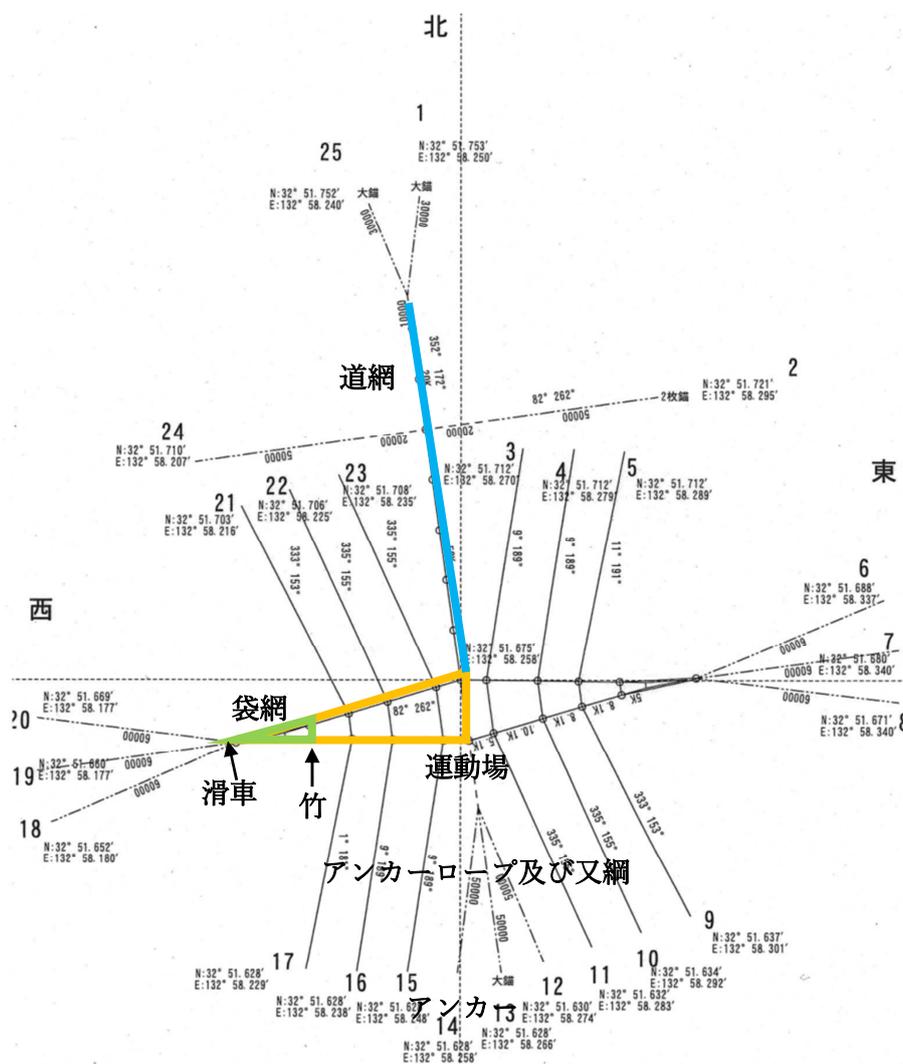


下ノ加江小型底定置網 網及びアンカーの撤去作業

- 1 日時：令和3年7月7日（水）15:00～17:00
 7月8日（木）7:20～18:00
 7月9日（金）8:00～12:00
- 2 場所：下ノ加江沖
- 3 参加者
 下ノ加江地区漁業者：中島鶴夫氏、中島和章氏、中島大雅氏、徳永氏、梶原氏
 田中漁網（株）：田中社長、田中氏、佐藤氏
 高知県漁協下ノ加江支所：井上支所長
 漁業管理課：谷口主幹
 土佐清水漁業指導所：田井野所長、秋永普及員、淵技師、池田
- 4 撤去した小型底定置網図



5 作業スケジュールと各作業に要した船舶、車両及び人員

作業日時	作業内容	作業に使用した船舶や車両	作業人員
R3.7.7	15:00～16:00	道網の網揚げ	機船船びき船 1 隻
	16:00～16:30	大錨 2 丁の引揚げ	船内外機船 1 隻
	16:30～17:00	道網及び大錨 2 丁の陸揚げ	機船船びき 1 隻 ユニック付き 4tトラック
R3.7.8	7:20～9:00	袋網の網揚げ及び陸揚げ	船内外機船 1 隻 船外機船 1 隻
	9:00～15:30	運動場の網揚げ	船内外機船 1 隻 船外機船 1 隻 機船船びき船 2 隻
	15:30～17:00	運動場の陸揚げ	機船船びき船 2 隻 ユニック付き 4tトラック
R3.7.9	8:00～12:00	アンカー（大錨及び 2 枚錨）の引揚げ	機船船びき船 2 隻
		アンカー（大錨及び 2 枚錨）の陸揚げ	機船船びき船 2 隻 フォークリフト ホイストクレーン

※機船船びき船 2 隻、船内外機船 1 隻は中島氏所有

※船外機船 1 隻は下ノ加江船主会より借用

※クレーン付き 4tトラックは田中漁網（株）所有

※フォークリフト及びホイストクレーンは高知県漁協下ノ加江支所所有

6 作業内容詳細

(1) 1 日目（令和 3 年 7 月 7 日）

ア 道網の網揚げ

- ・機船船びき船で道網と道網を固定していた又綱（アンカーロープと運動場をつなぐ二股のロープ）を取り外した後、道網を機船船びき船のドラムローラーに巻き上げながら、引き揚げた（図 1）。
- ・機船船びき船で道網から取り外した又綱をアンカーロープから取り外し、回収した。
※アンカーロープには網本体や又綱から取り外しても位置が把握できるように、黄色のブイが接続されている。

イ 大錨の引揚げ

- ・機船船びき船で道網の陸側の端を固定していた大錨2丁を引き揚げた（図2）。

ウ 道網及び大錨2丁の陸揚げ

- ・道網及び大錨2丁を下ノ加江新港まで運搬し、田中漁網（株）のユニック付き4tトラックで陸揚げした。

(2) 2日目（令和3年7月8日）

ア 袋網の網揚げ

- ・西側の袋網は滑車ロープとねじれて引き揚げられなくなっていたため、船内外機船で袋網の竹部分をローラーで引揚げ、できるだけ海面に浮上させた。

※操業における袋網の網揚げは袋網と運動場の接続部分である竹を浮上させ、竹に束ねられている滑車ロープを袋網の絞り部分にある滑車に送りながら、袋網を船上に引揚げていく。

- ・船外機船で浮上した西側の袋網の滑車ロープをたどり、ねじれを解消しながら袋網を引き揚げた（図3）。

- ・東側の袋網は、操業と同様に船内外機船で袋網の竹部分をローラーで引揚げ、船内外機船に竹から滑車までの袋網を引き揚げた。

イ 運動場の網揚げ

- ・船内外機船で運動場や滑車から又綱を取り外し、取り外した部分に白いブイを接続することで、運動場や滑車を海上に浮上させた（図4）。

- ・船内外機船で運動場から取り外した又綱をアンカーロープから取り外し、回収した。

- ・船外機船で浮上させた運動場の西端（滑車付近）の陸側と沖側にアンカーを打ち、その2本のアンカーロープを運動場の東端に待機する船内外機船に渡した。

- ・船内外機船で浮上させた運動場の東側の滑車と竹を取り、連結した機船船びき船2隻に2本のアンカーロープとともに渡した。

- ・連結した機船船びき船2隻で運動場の西端に沈めたアンカーロープ2本をローラーにより巻き取りながら、浮上した運動場を東側の滑車と竹の部分から人力（6人）により引き揚げた（図5）。

ウ 運動場の陸揚げ

- ・運動場を下ノ加江新港まで運搬し、田中漁網（株）のユニック付き4tトラックで引き揚げた（図6）。

(3) 3日目（令和3年7月9日）

ア アンカーの引揚げ及び陸揚げ

- ・中島氏らが機船船びき船2隻で残りのアンカーの引揚げを行った。

※引揚げたアンカーは、2枚錨20丁、大錨1丁

※2枚錨2丁は見つからず、この日は引揚げられなかった。

- ・下ノ加江新港に2枚錨9丁、下ノ加江の市場に2枚錨11丁と大錨1丁を陸揚げした。
※アンカーの陸揚げには、下ノ加江支所のホイストまたはフォークリフトを使用した。

7 所感

今回の網揚げは、下ノ加江及び清水地区周辺で網揚げに対応可能なユニック付きの船を確保できなかったため、中島氏所有の機船船びき船2隻を使用し、人力により網揚げを行った。人力による網揚げ作業は必要人員数が多く、人員の確保が難しかった上、作業者への負担も大きかった。ユニック付きの船が使用できれば少人数かつ省力での網揚げが可能であったと思われる。今後、小型底定置網を他地域で操業する場合は、ユニック付きの船が使用できる環境にある漁業者に実施してもらう必要があると感じた。

8 参考写真



図1 道網の引揚げの様子



図2 大錨の引揚げの様子



図3 西側の袋網を引き揚げる様子



図4 運動場から又網を取り外す様子



図5 運動場を船に引き揚げる様子



図6 運動場の陸揚げの様子